

参考となる「安全点検の取組事例」

質の高い実効性のある安全点検の参考となる専門家の活用や、教職員の負担軽減策、児童生徒や保護者等と連携等の先進的な取組事例を掲載しています。



学校における安全点検要領

安全点検要領の目的

この「学校における安全点検要領」は、**学校における事故を防止するため、学校及び学校の設置者等が連携して、質の高い実効性のある安全点検を行っていく参考となるよう作成したものです。**

学校における事故は、学校の施設設備に起因するものだけでなく、児童生徒等の行動や使用する物の状況の変化等による事故が多く発生しています。

そのため、学校における安全点検においては、これまでの重大事故やヒヤリハット事例を校内で共有することなどにより**事故発生リスクを把握し**、定期的安全点検だけでなく、日常の安全点検が事故を防ぐ重要なポイントとなります。このことを踏まえ、本安全点検要領では、それらの**安全点検を行う際の視点や点検の方法**、さらに、**専門的な知見を取り入れた外部人材等の活用、教職員の負担軽減も考慮した取組**などを紹介しています。

学校においては、安全点検を実施する際や事故防止の校内研修、学校設置者等においては、学校施設の維持管理を行う際などに、ご活用ください。

安全点検要領の内容

この「安全点検要領」は、ウェブ公開しており、「いつでも」、「どこでも」、「短時間」で、安全点検の方法を「見て」、「学び」、「実践」できるよう工夫しています。今後も、学校が参考となる情報を適宜、更新していきます。

主に、以下の内容で構成されています。

- 安全点検実施の考え方**
・点検体制、設置者との連携、専門家活用など
- 安全点検の種類と対象**
・点検の視点、対象の考え方、点検の頻度や方法など
- 事故等情報の共有**
・重大事件事例からの分析、ヒヤリハット事例収集など
- 安全点検表の活用**
・編集可能な点検表・集計表サンプルを紹介
- 安全点検の方法の解説**
・場所、箇所ごとに具体的な点検方法を映像等で紹介
- 安全点検取組事例**
・専門家活用や教職員の負担軽減策等、多数掲載

学校における安全点検要領

この安全点検要領は、学校の施設・設備等に起因する事故を防止することをねらいに、学校現場における質の高い実効性のある安全点検を実施するための参考となるよう、学校における施設・設備の定期や日常の安全点検に関する標準的な手法や、専門的な知見を取り入れた外部人材等の活用の方のほかに、先進的な取組事例などを掲載しています。

【リーフレット版】 【全体版】

安全点検要領について ● 掲載ページ一覧 1 点検要領の作成目的 2 点検要領の構成 3 消費者安全調査委員会からの意見	安全点検実施の考え方 1 児童生徒等の安全を確保するための安全点検の一体的な取組 2 学校における安全点検のPDCAサイクル 3 安全点検の実施体制と実施の流れ(例) 4 改善措置と計画的な環境整備
安全点検の種類と対象 1 学校保健安全法施行規則に基づく安全点検(種類) 2 「日常の安全点検」の実施の考え方 3 学校における安全点検を行う対象の考え方 4 点検の頻度と方法	事故等情報の共有 1 事故発生リスク(日本スポーツ振興センター災害共済給付事案を基に) 2 ヒヤリハット事例の活用
安全点検表の活用 1 安全点検表の作成にあたって 2 安全点検表作成のベースとなる点検の視点 3 安全点検表及び集計表(様式サンプル)	安全点検の方法の解説 1 解説の活用しかた 2 場所ごとの安全点検の方法の解説(解説映像付き)
安全点検取組事例 1 専門家を活用した安全点検 2 教職員の負担軽減を図る安全点検 3 児童生徒等の視点を取り入れた安全点検 4 地域や保護者等と連携した安全点検 5 PDCAサイクルを年かした安全点検 6 実効性のある安全点検の組織的な取組	安全点検参考資料 1 安全点検に関する通知 2 安全点検の参考となる資料 3 安全点検要領の検討に関する会議

「安全点検要領」を活用した先生方からの声

- 【安全点検の視点（安全点検の方法の映像）】**
- これまで施設設備の劣化を見る点検をしてきたが、子供の動きを踏まえることも含め事故を防止するための視点がわかりやすい。
- 安全点検映像も点検を行う視点がわかりやすく、短時間で学べてよい。
- 【安全点検表】**
- 点検表では、どのようなところを見ればよいか具体的に書かれている。
- 点検表について、日常と定期で分けて整理しており使いやすい。
- 点検表に記載の観点は非常に納得的。学校の状況を踏まえて追加等できるのも良い。
- 集計シートにおいて、×や△の箇所が自動で色が付くので分かりやすくて良い。
- 【教職員の負担軽減】**
- 点検表のデジタル化により担当者の集計作業の効率化が図られ、管理職も点検結果の全体像を速やかに把握しやすい。
- すでにデジタル化を進めているが、自動集計は楽で、管理職も全体の点検結果を把握しやすい。
- 【専門家の活用】**
- 教育委員会としても専門家の活用事例が参考になる。
- デジタル化により、点検結果を教育委員会とも共有できる。
- 【安全教育】**
- 事故を防止する視点は、生徒の安全教育にも生かせる。
- 安全教育と一体的に進めることが重要であるので、こういった視点が要領の中にあるのはよい。



右のアドレス、QRコードから活用できます

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/>



安全点検要領は、このような活用ができます

安全点検要領の活用の一例を紹介します。各学校における事故を防止するため、有効に活用してください。

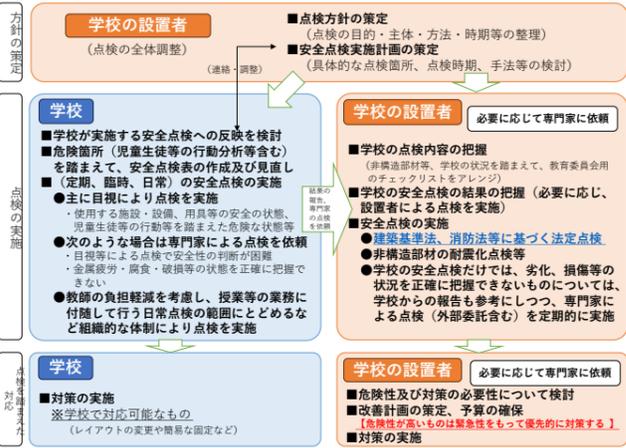
見る

安全点検の実施方法等が簡単に確認できます。



点検体制の整理（教職員、設置者、専門家の関わり） ※金属疲労等の専門性が必要なものは専門家に依頼

【参考】安全点検の実施の流れ（例）



点検後の対応・対策 ※学校の設置者と点検結果を共有し連携して対応

4 改善措置と計画的な環境整備

【改善措置】
 施設設備の不備や危険箇所があった場合の改善措置を遅延なく行うことを促すため、以下のとおり、法的に定められています。
 学校保健安全法（後略）
 第58条 校長は、当該学校の施設又は設備について、児童生徒等の安全の確保を図る上で支障となる事項があると認められた場合には、遅延なく、その改善を図るために必要な措置を講じ、又は、当該措置を講ずることができないときは、当該学校の設置者に対し、その旨を申し出るものとする。

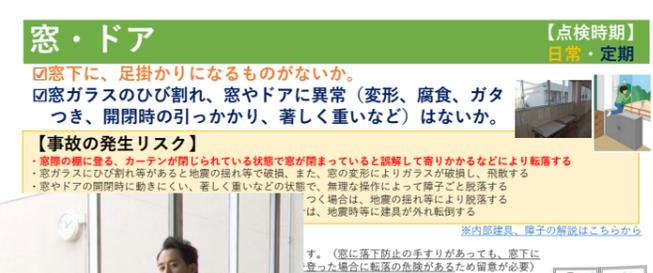
危険箇所の指示 (例)	立入禁止や使用禁止又は使用場所の変更 (例)	危険物の除去 (例)	施設・設備の安全対策、修繕 (例)
危険箇所であること	壁のコンクリートの一部が落下していること	廊下に落下したガラスの破片	廊下の床が破損していること
危険箇所であること	壁のコンクリートの一部が落下していること	廊下に落下したガラスの破片	廊下の床が破損していること

大規模な改修を伴うなど校長が対応できない事項は、学校の設置者に通告し、適切な措置の実現を図る必要があります。なお、安全点検の結果及び、修繕・改修等の安全管理に関する情報を設置者と学校が共有し、人事活動の際にも引き継ぐことが重要です。学校の設置者は、状況を踏まえて、改善計画の策定と対策実施（予算の確保等含む）し、極めて危険性が高いものは緊急性をもって優先的に対策するとともに、この安全管理に関する情報を、事故防止の観点から、各学校と共有して安全点検に生かすことが重要です。

コラム 「教育委員会が学校と点検結果を共有し、安全管理に努める取組」

宮城県白石市教育委員会では、「学校施設・設備管理マニュアル」を作成し、学校における安全点検の結果及び、臨時点検の結果について危険箇所等が発見された場合の対応等について、以下のとおり示しています。
 (1) 定期の安全点検
 ① 各学校における点検表にて、担当者から管理課に報告する。
 ② 毎月 学校施設設備について安全点検を実施し、実施結果について教育委員会に報告。
 (2) 臨時点検及び日常の安全点検
 臨時点検及び日常の安全点検の際、危険箇所等が発見された場合は、直ちに「使用禁止」や「立入禁止」等の措置を講ずるとともに教育委員会に報告する。

点検箇所ごとの安全点検の方法を映像等で解説 ※タブレット等で、点検場所等でも視聴できます。



教室等の点検方法
 点検の方法は、特設映像で解説し、タブレット等で視聴することができます。また、タブレット等で、点検場所等でも視聴できます。

窓・ドア
 窓の下に、足掛かりになるものがないか。
 窓ガラスのひび割れ、窓やドアに異常（変形、腐食、ガタつき、開閉時の引っかかり、著しく重いなど）はないか。
【事故の発生リスク】
 ・窓の横に棒、カーテンが閉じられている状態で窓が開くと倒壊して落下する
 ・窓ガラスにひび割れ等があると地震の揺れ等で破損、また、窓の窓枠が腐食し、飛散する
 ・窓やドアの開閉時に動きにくい、著しく重いなどの状態で、無理な操作によって落下し、飛散する
 ・窓やドアの開閉時に動きにくい、著しく重いなどの状態で、無理な操作によって落下し、飛散する
 ・窓やドアの開閉時に動きにくい、著しく重いなどの状態で、無理な操作によって落下し、飛散する

校舎内外の主な点検箇所の点検方法を解説。点検映像は1～2分。

学ぶ

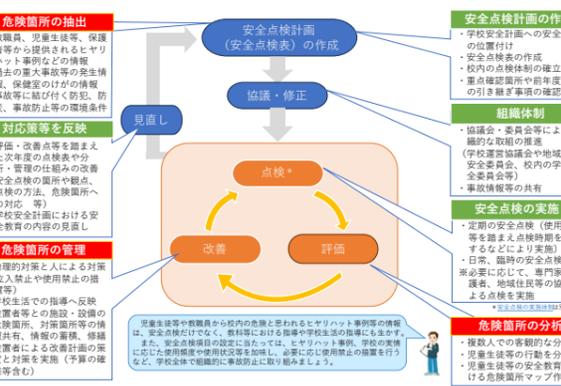
事故防止の重要な視点を学びます。点検項目の見直しにも参考になります。



危険箇所の「抽出」、「分析」、「管理」の在り方 ※ヒヤリハット事例等を共有し、組織的に対応

2 学校における安全点検のPDCAサイクル

安全点検の実施については、学校安全計画に位置付け、年に決まった項目を毎年点検するだけでなく、児童生徒等の安全教育と緊密に関わりを持ちながら、学校生活の環境内にある危険箇所、ヒヤリハット事例及び危険な環境条件等の抽出・分析・管理・改善を、PDCAサイクルを確立して組織的に進めていくことがより重要であり、学校全体で事故を防止していく必要があります。



これまでの重大事故事例を教訓として生かす ※事故情報から得られる安全点検の留意点も記載

窓からの転落・落下事故

窓際での遊びや、窓の清掃中、窓が開いていることに気づかず落下する事故が多い



主な発生状況（概要のみ）
 ●3階廊下で窓の下側にあった本棚に上がり、開いていた窓の窓枠に足を引っかけて落下した。
 ●給食時休憩時間中、3階の教室でカーテンが閉じた窓際に座って友人と話していた際、窓が開いていることに気づかず降りかかろうとして、そのまま転落した。
 ●1、8mの高さにある窓の鍵を開けたため、2階廊下の窓際に設置された金属製の用具入れに乗って窓を開け、降りる際、バランスを崩して後ろ向きに転倒し、1階中庭通路（コンクリート）に転落した。
 ●昼休みの清掃準備のため3階の教室のうしろに下げてあった机の上を歩いていたら、下のぞうと手を滑らせたため、手を滑らせたまま転落した。
 ●廊下活動中、4階中央廊下で換気のため、窓明け作業をしていた。窓際に立った際、廊下にピンポン球が1個あるのに気づき、それを取りにいこうと窓枠を乗り越えようとした瞬間、バランスを崩し10m下の駐車場の屋根に転落した。

事故情報から得られる安全点検の留意点【は、日常の安全点検の重要なポイント】
 ★ 日常及び定期の安全点検において教室や廊下等の窓の下に足掛かりとなるものが置かれていないかを確認する必要があります。
 (窓に落下防止のハンズフリーがあっても、窓際に足掛かりとなる設置物があると窓の空いた状態で設置物に登り落下の危険があります。)
 ★ 定期の点検において、落下を防止する対策に不備を確認する必要があります。
 (窓を開かないようにするストッパー等の作動状態に異常がないかを確認する。)

事故防止に欠かせない「日常の安全点検」の実施の考え方 ※児童生徒等の目線に立った確認が重要

2 「日常の安全点検」の実施の考え方

「日常の安全点検」で教職員が確認する重要なポイント

- 児童生徒等の行動の様子
- 物の移動などを含む状況の変化
- 機器・設備等の変化や損傷 (主に授業等に頻りに使用するもの)

ポイント	児童生徒等の行動の様子	物の移動などを含む状況の変化	機器・設備等の変化や損傷 (主に授業等に頻りに使用するもの)
視点	児童生徒等の行動が事故につながる点	活動場所等において危険に繋がらないか	使用する機器・設備、用具等が安全な状態にあるか
重大事故 (例)	窓際に足を引っかけて落下した	体育倉庫の扉が閉じられ、落下した	廊下の床が破損し、転落した

「日常の安全点検」の実施に当たっては、このよう重大事故の事例や校内でのヒヤリハット事例を教職員間で共有し、各学校等における児童生徒等の発達の段階や状況に応じた「日常の安全点検」の項目として設定し、事故防止に生かすことが重要です。

安全点検の「頻度」と「方法」 ※耐震化に関するものは年1回程度実施。ただし、使用頻度に応じて点検頻度を増やす等検討

4 点検の頻度と方法

学校における定期や日常の安全点検の「頻度の目安」と「方法」について示しています。
 日常の学習や活動において、児童生徒等の行動が事故の原因となるものがないか、施設を日常的に使用する点として、施設・設備の異常 (不具合) を早期に発見する観点から、安全点検を実施してください。その際、児童生徒等が毎日使用しているものは劣化や破損等があるに気づきやすいため、児童生徒等における使用状況等を考慮して点検の頻度を増やすなどの対応が必要であることに留意する必要があります。また、教職員が行う点検は主に目視ですが、点検の実施に当たっては、【2】学校における安全点検を行う際の考え方【】及び、以下を踏まえて、学校独自の安全点検表を作成します。その際、【安全点検表の活用】2【安全点検表の活用】を参考にしてください。なお、「日常の安全点検」については、【2】日常の安全点検【】の実施の考え方を参考にしてください。

- 【点検の頻度等】**
- 器具・用具の使いやすさ等 (内容例) 窓際に足掛かりとなる設置物を置いていないか、死亡や重傷な事故につながる点が多い器具や用具等も含め日常の使用頻度、児童生徒等の事故につながる危険な行動等を点検します。 (頻度の目安) 日常的に実施
 - 非構造部材等の劣化点検 (内容例) 経年による腐食やひび割れ等が発生し、耐震性の低下や破損が進むものもあるため、異常箇所の発見及び修理の観点から、定期的な点検を実施します。 (頻度の目安) 年1回程度実施
 - 器具等の耐震性点検 (内容例) 身の回りの器具、設備等について、壁に固定するなどの取組、落下防止対策がとられているか点検します。 (頻度の目安) 年に1回程度実施
- 【点検の方法】** 詳細は、【安全点検の方法の解説】を参照
- 目視: 点検者が目視で、ゆがみ、亀裂、腐食、変形、異物の有無を確認する方法
 - 触診等: 触診等により、腐食、ひび割れ、動きなどを確認する方法

実践する

学校の実情を踏まえ、「安全点検表」を編集
 ※デジタル化すれば、集計作業も効率的
 ※点検表サンプルは、施設設備の劣化以外の事故防止の観点を重視

安全点検表サンプル①

点検箇所	点検項目	点検結果	点検者	点検日
普通教室 1	1 窓ガラスにひび割れや汚れはないか	○	教職員	2023.10.10
	2 窓の横に棒やカーテンが閉じられている状態ではないか	○	教職員	2023.10.10
	3 窓の横に足掛かりになるものはないか	○	教職員	2023.10.10
	4 窓の横に重いものはないか	○	教職員	2023.10.10
	5 窓の横に危険な状態のものはないか	○	教職員	2023.10.10
	6 窓の横に危険な状態のものはないか	○	教職員	2023.10.10
	7 窓の横に危険な状態のものはないか	○	教職員	2023.10.10
	8 窓の横に危険な状態のものはないか	○	教職員	2023.10.10

安全点検要領を活用した安全点検の実施
 ※事故防止の視点を確認しながら、負担少なく、効率的に実施

一時的に立てかけているものや置いているもの
 □一時的に立てかけているものや置いているものも、倒れたり、崩れたりする状態にならないか。
【事故の発生リスク】
 ・行事等で一時的に立てかけてあった重さのある長尺等が倒れてきて負傷する危険がある。



(活用例) ※タブレットを活用した場合
 ① 点検方法をその場で確認 (視聴)
 ② デジタル化した点検表を使って、点検箇所を点検
 ③ 点検表に点検結果や、改善を要する点など入力



児童生徒等の安全教育としても活用
 ※事故防止には、安全教育と一体的な取組が必要

2 ヒヤリハット事例の活用

学校における事故を防止する第一歩は、学校内で危険と思われる箇所等のヒヤリハット事例の発生を、児童生徒等や教職員等から気兼ねなく寄せられる学校安全の風土の醸成が何より必要であり、安全点検にも生かすことのできる重要な取組です。校内だけで済ませず、一歩踏み出せば大きな事故につながるヒヤリハット事例を積極的に共有し、事故防止の取組を進め、地域など全ての関係者から情報を収集し、重点的に対策を講じる、点検を行う場所を絞り込んでいくことが重要です。また、共有したヒヤリハット事例は、安全点検だけでなく、教科等の安全教育や、日常生活における指導にも関連付けて行うことが必要であり、安全教育と安全管理との連携を密に図ることが重要です。

【ヒヤリハット事例を活用していく意識】
 ◎ 安全点検だけでは児童生徒等の事故は防げない、児童生徒等の安全意識の高まりに寄与するものとなる。
 ◎ 安全点検において、施設・設備の劣化だけでなく、真正に事故防止に資する点検項目の設定に生かせる。
 ◎ 国立教育政策研究所による調査からは、教職員と比較して児童生徒の方が、日常的な事故等に対し危険を感じる度合いが高いことが示されている。
 ◎ 安全点検に子供の視点を加えることで、事故の要因に対する気づきや学校内での問題意識の共有を推進することができる。

ヒヤリハット事例を活用している学校の取組例

- 【児童生徒等が行うヒヤリハット事例の収集・活用例】**
- 総合的な学習の時間等における危険な場所等
 - （学習を通じ）注意喚起のマップを考案し、危険な箇所を提示、学校全体に啓発
 - 学級活動における生徒自身の「ヒヤリハット」体験の共有
 - （学習を通じ）けがの予防策を検討
 - 保健委員会等の委員会活動でヒヤリハット事例（自校のけがの発生状況）や予防策をまとめる
 - （取組を通じ）委員会が校内の安全点検を実施し、校内の危険箇所マップを作成
- 【教職員が行うヒヤリハット事例の収集・活用例】**
- 児童生徒等の休み時間等の活動の様子を観察
 - ⇒危険と思われる行動を、学年主任や教職員全体、児童生徒等と共有
- ※ヒヤリハット事例を活用した取組の詳細については、【安全点検取組事例】を参照し、自校での取組に生かしてください。
 ※ヒヤリハットの報告書は、「学校」の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン サンプルP16を参考にしてください。